御田小だより

～ みんな元気 たのしい 御田小 ～

港区立御田小学校
学校便り
令和3年1月29日 No.10
発行者 御田小学校長
濵尾 敏恵

“多様性”が育むこと ～論客の対談を通して～

校長 濵尾 敏恵

一年ほど前のことになるでしょうか。教育に関しても鋭い論を放つ劇作家の鴻上尚史さんが対談を行うとのことで視聴した番組があります。対談の中でコミュニケーションに関わる話題になったときのこと。鴻上さんは、「誰とでも仲良くできることを意味するのではなく、人との間で問題が発生したり、衝突したりしたときに解決できる力こそがコミュニケーション能力。そしてこの力は、“多様性”の中で育まれる。」と、このときも期待を裏切らない興味深い解釈をされておりました。対談のお相手は、ブレイディみかこさん。2019 年本屋大賞を受賞した『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』を執筆された方です。著書名は知っていたものの、著者であるブレイディみかこさんの人と成りは存じ上げておりませんでした。「10 代の頃に UK パンクロックに影響を受ける。高校卒業後、アルバイトで資金を貯めては渡英を繰り返す。1996 年には英国に在住。日系企業で勤務したのち、アイルランド人の方と婚姻。子供が生まれてから保育士資格を取得。保育所で働きながらお小遣い稼ぎにライターの仕事を始める。」この経歴だけでも只者ではない感が伝わってくるかと思います。テレビに映し出されたブレイディさんは、革ジャンにクールなニット帽姿。この出で立ち同様、私と同じ時代を同じ年齢で過ごしてきた方とは思えない彼女の生き方や思想は、大変活力溢れるものでした。

鴻上さんとブレイディさんのこのときの対談が、『なんとかならない時代の幸福論』というタイトルで書籍化され先月末に発行されたのですが、日を同じくして、本校の図書支援員の方が、「校長先生が以前、学校だよりで触れていたことについて書かれている本なのでお時間があればぜひ。」と一冊の本を持ってきてくださいました。それが、なんともタイムリーなことに、『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』でした。ブレイディさんのご子息が中学校で、人種問題や経済格差、ジェンダーの問題などに直面しながら、母（みかこさん）とともに考え悩み、乗り越えていく様をユーモアあふれる筆致で描いたノンフィクション。図書支援員の方が、人権をテーマに学校だよりを書いた私に、この本を紹介してくださった理由が分かりました。

ブレイディさんは対談の中で、「エンパシー」について触れていました。「エンパシーは、“自分と違う理念や信念をもつ人のことを想像してみる主体的な力”のことで、似ているけれど、シンパシー（共感する気持ち）とは違う。」と言っています。つまり、シンパシーは感情的状態であるのに対し、エンパシーは知的作業であって、「エンパシーは、“多様性”の中で磨かれる。」と、現実と格闘する息子にも説いています。さらにこの話を受け鴻上さんは、「エンパシーは能力だから、あとからいくらでも伸ばせる力」と加えています。お二人の考えを聞きながら私は、エンパシーを研磨したり、コミュニケーション能力を伸長させたり、“多様性”がもたらす効果は大きいものだと感じました。”多様性”の言葉は社会に浸透してから久しく、改めて話題にするのも憚られたのですが、最近、このような出来事があり、取り上げさせていただきました。

1月26日、中央教育審議会が出した、新しい時代の教育についての答申『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』の中にも、“多様”の言葉は幾度となく使われており、今後の日本の教育において必須課題になることは間違いありません。そして今回、ブレイディさんの著書を読み、学校対抗の水泳大会で階級によって子供たちの待機場所やコースを区別するなどということがいまだに行われている英国の現実を知り、“多様性”の言葉の重みをしっかりと受け止め、指導をしていかなくてはならないという思いを強くしました。

以前からお伝えさせていただいておりましたが、東京都教育委員会人権尊重教育推進校として、昨年度から取り組んできた研究の成果を、今月の19日に発表いたします。できれば、研究の賜物でもある成長した子供たちの姿を見ていただきたいところでしたが、感染症拡大防止のため、授業の録画視聴、状況によっては、研究成果物の配布で発表することになりました。教職員は、これまで、ハンセン病患者、アイヌの人々、同和問題等、様々な人権課題を通して、「正しい知識を得ることが、偏見や差別を生まないことに繋がる」ことを指導し、人権に関する理解を深めてまいりました。「“多様性”があると揉めるので楽ではない。でも、“多様性”は無知（知らないこと）を減らすことになる。無知を恐怖心で煽られると憎悪（差別的）に変わる。煽られても憎悪に変わらないようにするためには、無知の部分を直していかなくてはならない」。ブレイディさんが言っていたこの“無知の部分”の耕しに重点を置き指導を行ってきた2年間でした。教職員の努力もあり、だいぶ開拓されてきたという自負はあります。

人権に関する授業後の感想に、「差別は自分のことになったときに表れる。」と書いた子がいました。研究発表は通過点であり、人権教育にゴールはありません。教室で学んだことが机上論にならぬよう、今後も、人権が尊重される社会づくりに向けた行動をとれる個人を育成する教育を続けてまいります。

〈人権教育の取組について〉

みたルーム　若佐　陽子

みたルームでは、「自分の気持ちを適切に伝えることができる児童」「自他のよさを認め合うことができる児童」の育成を目指した自立活動を通して、人権教育を行っています。

個別学習では、「気持ちを表す語彙」の学習を通して、自分の気持ちを適切に表現することができるように指導しています。「表情カード」と「気持ちを表す言葉」を結び付けたり、「気持ちの度合い」を数値化したりしています。また、小集団学習では、毎時間の学習の最後の振り返りで、めあてに対して「自分ができたこと」や「友達のよかったところ」を書き、発表し合うことで、自尊感情の向上を図っています。

〈マラソン月間について〉

体育部　丸山　知佳

1月21日(木)～3月5日(金)は、マラソン月間です。

自分のペースで走り、継続して行うことで、体力向上を図っていきます。今年度は、学年ごとに朝学習や体育の授業でマラソンを行います。校庭1周を走った回数をマラソンカードに塗り、完走すると完走賞が貰えます。マラソン月間では、自分自身の変化を感じることや達成感を味わうことが大切だと考えています。自分の体力と向き合いながら、健康な体と心をつくっていけるよう指導してまいりま

〈6 年生を送る会について〉

特別活動部　櫻澤　紗香

25日(木)に「6年生を送る会」を行います。密を避けるため、1学年ずつ1～5年生が出し物を発表し、6年生へお世話になったことへの感謝の気持ちを伝える予定です。また、一年間6年生が揚げていた校旗を5年生に引き継ぎます。一年間、休み時間に一緒に遊んでくれたり、委員会・クラブ活動、たてわり班活動などで手本を示してくれたりした6年生に「ありがとう」の気持ちが伝わるように心を込めて発表し、6年生にとって小学校生活のよい思い出の一つとなるようにします。

【中村　美帆子カウンセラー来校日】
2月1日(月)、8日(月)、15日(月)、22 日(月)
【芝　薫カウンセラー来校日】
2月5日(金)、12日(金)、26 日(金)

〈2月の生活目標〉

寒さに負けず、元気に過ごしましょう。

〈2月の行事予定〉

1	月	〔全〕 B時程　あいさつ週間始
2	火	安全指導
3	水	B時程
4	木	〔GT〕人権教育(4年)
5	金	
6	土	土曜授業日　あいさつ週間終
7	日	
8	月	〔全〕 B時程　クラブ　クラブ見学(3年)
9	火	新1年入学説明会　4時間授業(1･2年)
10	水	B時程
11	木	建国記念の日
12	金	避難訓練　〔GT〕人権教育(4年)
13	土	
14	日	
15	月	〔全〕 B時程
16	火	
17	水	B時程
18	木	B時程5時間授業
19	金	B時程4時間授業　研究発表会
20	土	
21	日	
22	月	〔全〕 B時程　クラブ最終
23	火	天皇誕生日
24	水	B時程　4時間授業
25	木	6年生を送る会(4校時)
26	金	
27	土	御田小家庭読書の日
28	日	

〔全〕：全校朝会　［ＧＴ］：ゲストティーチャー

感染症の状況により、学校行事等に変更が生じた場合は、随時お知らせいたします。

保護者会のお知らせ

学年末の保護者会を下記の通り実施する予定です。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、時間や会場の変更、オンラインでの開催となる場合があります。ご承知おきください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

○日時･場所　　午後 2 時 30 分～午後 3 時 30 分

低学年保護者会	3 月 5 日(金)	場所　1 年生…各教室　2 年生…各教室
中学年保護者会	3 月 4 日(木)	場所　3 年生…各教室　4 年生…各教室
高学年保護者会	3 月 9 日(火)	場所　5 年生…各教室　6 年生…体育館

※該当学年児童は5校時で下校します。

○内容＜全体会＞　　･学校評価アンケート結果について、校長より説明があります。
各教室に動画で配信します。
＜学年保護者会＞･3学期および一年間の振り返り　･春休みについて　･その他